

学校図書館における読書バリアフリーの現状と学校司書への期待

専修大学文学部教授 野口武悟

◆学校図書館は学校教育を支える必須の基盤

【目的】（「学校図書館法」第2条）

- ・学校の教育課程の展開に寄与すること
- ・児童生徒の健全な教養を育成すること

【機能】（文部科学省「学校図書館ガイドライン」）

- ・読書センター
- ・学習センター
- ・情報センター

◆すべての学校図書館に読書バリアフリーの必要性高まる

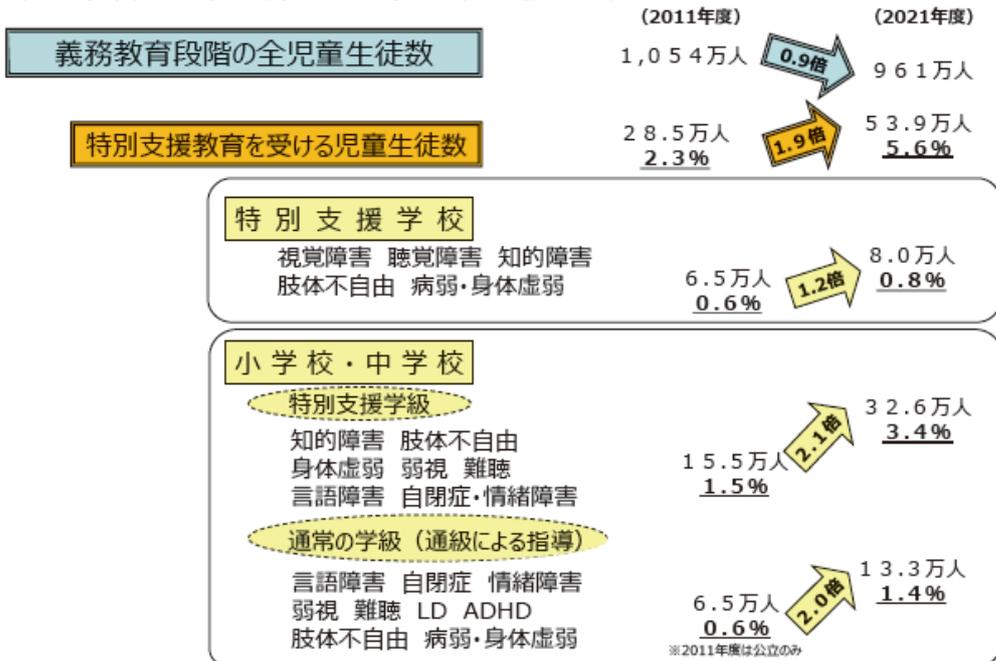
- ・特別支援教育を受ける子どもたちの現状

特別支援学校等の児童生徒の増加の状況(2011→2021)



(各年度の数は5月1日現在)

- 直近10年間で義務教育段階の児童生徒数は1割減少する一方で、特別支援教育を受ける児童生徒数はほぼ倍増。
- 特に特別支援学級(2.1倍)、通級による指導(2.0倍)の増加が顕著。



※通級による指導を受ける児童生徒数は、2019年5月1日現在の数(出典:通級による指導実施状況に関する調査)。その他は2021年5月1日現在の数(出典:学校基本統計)。

・通常学級で学ぶ子どもたちにも高まる特別な教育的ニーズ

<小学校・中学校>

	推定値 (95%信頼区間)
学習面又は行動面で著しい困難を示す	8.8% (8.4% ~ 9.3%)
学習面で著しい困難を示す	6.5% (6.1% ~ 6.9%)
行動面で著しい困難を示す	4.7% (4.4% ~ 5.0%)
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	2.3% (2.1% ~ 2.6%)

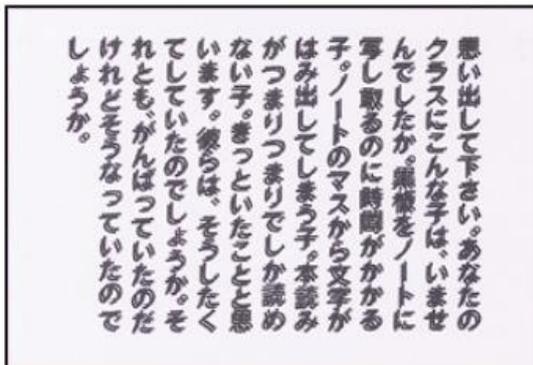
<高等学校>

	推定値 (95%信頼区間)
学習面又は行動面で著しい困難を示す	2.2% (1.7% ~ 2.8%)
学習面で著しい困難を示す	1.3% (0.9% ~ 1.7%)
行動面で著しい困難を示す	1.4% (1.0% ~ 1.9%)
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	0.5% (0.3% ~ 0.7%)

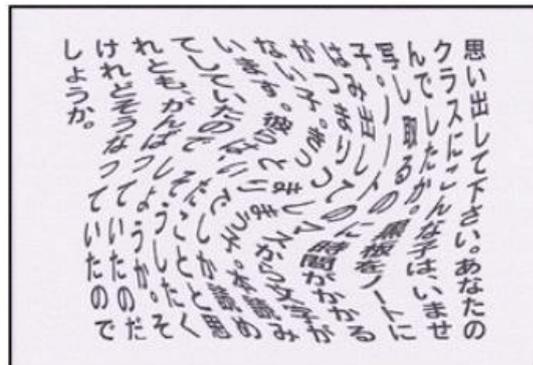
出典：文部科学省「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果(令和4年)」, 2022年

・読書バリアフリーを必要としているのは視覚障害の子どもだけではない

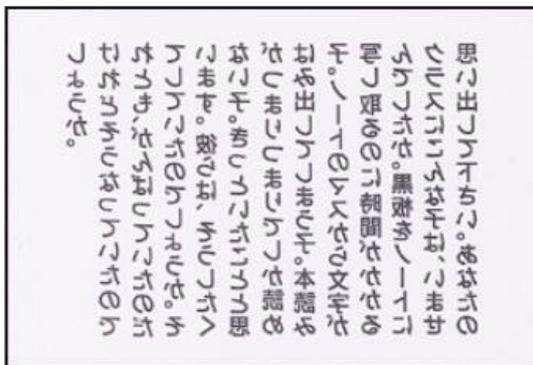
例：ディスレクシアの人の読書の困難さ



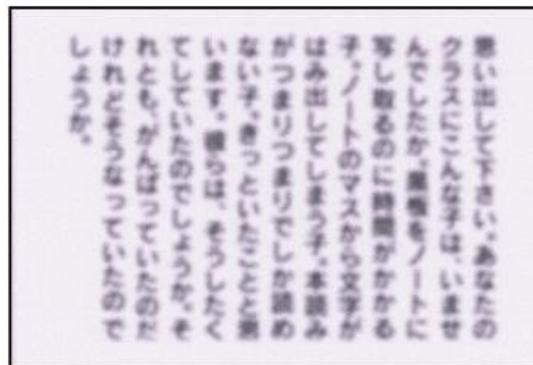
文字がにじんで見える



文字がゆらいで見える



鏡文字となって見える



文字がかすんで見える

出典：(公財)日本障害者リハビリテーション協会のリーフレット

◆学校図書館の機能に不可欠な資料、特にアクセシブルな図書・資料の整備の遅れ

- ・文部科学省「学校図書館図書標準」達成率（令和2年度文部科学省調査）

小学校 71.2%

中学校 61.1%

特別支援学校小学部 15.5%

特別支援学校中学部 3.6%

- ・学校種別の主なアクセシブルな図書・資料の整備率（令和2年度文部科学省調査）

	点字図書	拡大文字 図書	録音図書	マルチメディア デジタル図書	LLブック
小学校	42.5%	15.5%	5.2%	1.3%	6.2%
中学校	19.6%	16.5%	5.7%	1.0%	4.0%
高等学校	12.3%	8.7%	10.9%	0.6%	2.2%
特別支援学校 (中学部)	15.8%	16.2%	14.2%	21.0%	9.4%

◆子ども一人ひとりのニーズに寄りそい、図書・資料とサービスを提供する学校司書がいてこそその学校図書館

- ・学校司書の配置率（令和2年度文部科学省調査）

	配置率	常勤率
小学校	68.8%	9.7%
中学校	64.1%	10.9%
高等学校	63.0%	51.2%
特別支援学校 (中学部)	5.5%	2.1%

- ・直近2年間における学校図書館担当者の読書バリアフリーに関連した研修の受講状況（令和4年度文科省委託「学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム」調査）

小・中・高校 4.1%

特別支援学校 6.6%

◆学校種間での差が大きい学校図書館の活用、連携の状況

- ・ 全校一斉の読書活動の実施状況（令和2年度文部科学省調査）

小学校	90.5%
中学校	85.9%
高等学校	39.0%
特別支援学校（中学部）	17.2%

- ・ 授業での学校図書館の活用状況（国語科の場合）（令和2年度文部科学省調査）

小学校	94.7%
中学校	72.8%
高等学校	56.6%
特別支援学校（中学部）	44.6%

- ・ 公共図書館との連携状況（令和2年度文部科学省調査）

小学校	86.0%
中学校	65.4%
高等学校	54.5%
特別支援学校（中学部）	38.1%

◆機能を高め、障害の有無にかかわらずすべての子どもが利活用できる学

校図書館となるために

- ①図書・資料（特に、アクセシブルな図書・資料）の一層の整備・充実
- ②学校司書のさらなる配置促進と常勤・一校専任化、その養成・研修の改善・充実